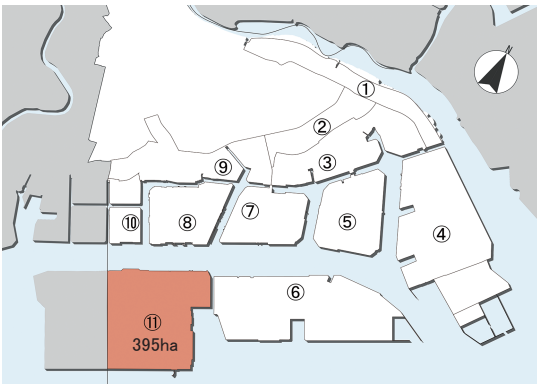


11 ～アクションマップ～ 扇島地区



凡
例

- 市域
- 対象地区範囲
- 国際戦略総合特別区域
- 都市再生緊急整備地域
- 特定都市再生緊急整備地域

- 課題・問題箇所
- 交通・道路
- 環境
- 防災
- その他

- バス停
- 鉄道駅
- 課題解決アクション完了箇所
- 業・官民連携による取組

SCALE 1/12000
0 100 300 500m

JFEスチールの高炉等休止(2023.9予定)に伴う土地利用転換の取組を推進
カーボンニュートラル拠点や首都圏防災を支える拠点形成を目指すエリア
・高炉等休止に伴う土地利用方針を策定(2023.8)
・原料ヤードの一部と大水深ハースのエリアを扇島地区全体の開発の「先導エリア」と位置づけ
・先導エリアの整備推進に関して、市とJFEが土地利用や基盤整備などに関する協力事項や役割分担などを定めた「扇島地区先導エリアの整備推進に関する協定」を締結(2024.5)

(先導エリアの主な取組状況)

(1) カーボンニュートラル拠点

水素を軸としたカーボンニュートラルエネルギーの受入・貯蔵・供給の拠点形成をめざす
液化水素の商用サプライチェーン構築に向けた商用化実証のための液化水素受入タンク等を整備(令和10年度実証事業開始予定)
令和6年7月、「液化水素サプライチェーンの商用化実証」における液化水素受入地として、日本水素エネルギーがJFEスチールと土地賃貸借契約を締結

(2) 高度物流拠点

GX・DXによる効率化・高付加価値化を実現した高度物流拠点の形成をめざす
(令和10年度一部供用開始予定)

(3) 港湾物流拠点

「川崎港湾湾計画」を改訂(2024.11)し、液化水素、完成自動車等の外貨貨物を取り扱う大水深ハースを活用した公共埠頭や臨港道路等を位置付けるなど、整備に向けた取組を推進
(令和11年度一部供用開始をめざす)

(4) 高速道路アクセス

首都高湾岸線扇島出入口の4ランプ(東京・横浜両方面)整備を予定
令和6年5月に都市計画変更
(令和10年度一部供用開始をめざす)

(5) 一般道路アクセス

国道357号の一部区間(扇島内)整備、JFE構内通路の公道化(東西1・2号、扇島大橋)
(令和10年度一部供用開始をめざす)

【共通課題】

・交通アクセスに課題

JFEスチールのトンネル又は東扇島のJFEスチール・東京電力の構内道路によるアプローチのみ

・横浜市域への警察・消防などの対応は川崎市域側からのみ

JFEスチール
春、夏、冬に工場見学会を開催。

工場内への直通バスの運行

(川崎鶴見臨港バス)

◇川崎駅～扇島各事業所間にて平日朝夕計16便・休日朝夕計4便が運行(2020.3)
◇運行廃止(2020.7)

京浜運河
(幅600～700m)

臨港道路
東扇島水江町線

首都高速湾岸線

JFEスチール

(製鋼)

(第1高炉)

(第2高炉)

JFEスチール

(原料ヤード)

(原料岸壁)

ENEOS
扇島風力発電所

扇島太陽光発電所

(発電所)

(中央事務所)

(エネルギーセンター)

ENEOS

東亜石油

JERA東扇島LNG基地

JERA東扇島火力発電所

東京パワーテクノロジー
川崎サイクルセンター

西公園

川崎港
コンテナターミナル

か

物

新

1